

# ひょうごの遺跡

平成17年  
3月30日発行

55号

兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2-1-5 TEL 078 531)7011 FAX 078 531)7014

ホームページアドレス <http://www.hyogo-c.ed.jp/~maibun-bo/>

## 平成16年度の発掘調査 特集

兵庫県教育委員会では、平成16年度中に約30件の発掘調査をおこないました。今号では、坂元遺跡（加古川市）と大中遺跡（播磨町）を中心に、9遺跡を紹介します。特に、大中遺跡の調査は、県立考古博物館（仮称）建設の第1歩となるものです。



坂元遺跡方形周溝墓群

# 坂元遺跡

さかもといせき

加古川市野口町

加古川市野口町に所在する坂元遺跡を、昨年度に引き続き調査しました。弥生時代中期から鎌倉時代の遺構があります。弥生時代は、集落・墓・生産の場を確認しました。円形の竪穴住居跡と方形周溝墓と呼ばれる墓跡、そして水田です。調査区内には白ヶ池川が流れ、川沿いの低地を水田に、段丘の端を墓域に、段丘の上を居住空間としたものです。大溝が、南北方向に3条走ります。農業用の溝と考えられます。

奈良時代では、日本最大の駅家である山陽道賀古駅家の駅戸を調査しました。掘立柱建物跡を80棟以上確認し、木簡・墨書土器・硯・木製祭祀具・銭貨・軒平瓦が出土しています。



方形周溝墓は、四方が溝で囲まれた墓で、その中に埋葬施設が存在しますが、今回の調査では削られて残っていませんでした。段丘端部に8基以上並んで築かれていたようです。昨年も13基確認し、白ヶ池川の南北に墓が築かれていたことになります。溝内には、弥生土器がお供えとして置かれていました。



方形周溝墓の北側の溝に置かれていた壺です。胴部に焼成後の穿孔（焼かれてから穴を開けている）がみられます。

加古川流域によく見られる模様を多く付けた土器です。周溝墓出土の壺は、底や胴部に孔を開けているのが特徴です。



調査区の数箇所から、埴輪がまとめて出土しています。古墳の周溝とは断定できませんが、かつて複数の古墳が存在していたことを示しています。普通の円筒埴輪より、形象埴輪が多いのが特徴です。中には彩色している埴輪もあります。



掘立柱建物跡群です。南北方向に主軸を持つ建物と、約45°の角度を振った建物があります。南北の方が古く、奈良時代後半に地割りを変えているようです。

掘立柱建物跡は2間×3間のものが大半で、大型の建物は確認されていません。



## 墨書土器



「林」



「大」



「家」



出土遺物には、多くの漁労具が含まれています。網のおもり（土錘）やタコ壺です。土錘には幾つかのタイプがありますが、棒状で両側に穴の開いたものが多く出土しています。

タコ壺は、マダコ用とイイダコ用のものがあります。イイダコ壺にはコップ形の弥生時代のものから、釣鐘形をした古墳時代・奈良時代のものがあります。



使い古された軒平瓦が1点、大溝から出土しています。播磨国府系瓦と呼ばれているもので、国府や郡衙・駅家などから出土している瓦です。その型式から北宿式と呼ばれているものです。

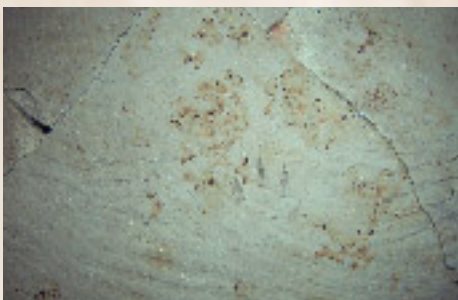
そのことから、坂元遺跡が一般のムラではなく、駅戸のムラと考えられるのではないのでしょうか。



素掘りの井戸が1基確認されました。漏斗状に掘られており、井戸を埋める際に籠に一对の墨書土器を埋納しています。さらに上部には口縁部を打ち欠いた土器を入れていました。



坂元遺跡の東上空から撮影した空中写真です。左側に古代山陽道が通り、その南に賀古駅家（古大内遺跡）が立地しています。中央に坂元遺跡があり、その背後には賀古郡衙に推定されている溝之口遺跡があり、手前には奈良時代の寺院跡である野口廃寺があります。



須恵器横瓶の側面に、足跡が残っていました。小動物の足跡かと思われます。土器を作って、乾燥している間にさわったのでしょうか。子ギツネのいたずらではと想像すれば、のどかな古代の1コマが目に見えます。



# 大中遺跡

おおなかいせき

加古郡播磨町大中

第22次調査

兵庫県立考古博物館（仮称）建設に先立ち、加古郡播磨町にある大中遺跡の史跡公園の南側を調査しました。今回の調査では竪穴住居跡8棟を検出し、大中集落の南西端をほぼ確定することができました。調査区内の地形は、北寄り部分が高く、南寄りが低くなっており、最も低い部分では竪穴住居跡は存在していませんでした。

検出した遺構には、弥生時代後期の竪穴住居跡や土壌・溝のほか、鎌倉～室町時代の掘立柱建物跡や水田段差に沿って掘られた長い溝があります。

竪穴住居跡は隅丸方形と方形とがありますが、方形が隅丸方形よりも時期的に新しく建てられたものです。隅丸方形の住居跡は2棟検出しましたが、どちらも火災により焼失したもので、特に、2号住居跡には土器・石器などの生活用品が多く残されていました。



1号住居跡全景と住居から廃棄されたと思われる土器群



3号住居跡内の周囲に砂利を敷いた土壌

4号住居跡内土壌底の鉢に入ったイイダコ壺

方形の1・3号住居跡では、屋内土壌の周囲に砂利を敷き詰めていました。土壌が水溜の場合には水始末や足元を固めるためとも考えられます。以前の調査も含めて3棟から見られ、ほぼ同時期に近い場所の住居で用いられています。集落全体には受け入れられなかったようです。

また、大中遺跡の特徴のひとつに、イイダコ壺が多く出土することがあげられますが、今回の調査でもほとんどの住居跡や溝・土壌からも出土し、そのことが裏付けられました。

古代大中ムラの人たちは、よほどイイダコが好物であったと考えることもできるでしょう。



調査区南部の航空写真。4棟（1～4号）の竪穴住居跡が見える。一番上に1号住居跡、その下に2・4号住居跡、左側は3号住居跡。下方の長い溝は鎌倉～室町時代の溝で、水田段差部分に存在する。（写真左上が北）



調査区北西部の遺構群。一番奥が5号住居跡、中間に8号住居跡、手前が6号住居跡



## 2号住居跡

弥生時代後期後半の2号住居跡は隅丸方形の平面形で、一辺が約5メートルの大きさです。屋内の4本柱の外側には「ベッド状遺構」と呼ばれる高床部分が全周しています。

この住居跡は火災に遭い焼失したもので、焼土とともに焼け落ちた柱や梁・桁、垂木などをはじめ、壺・甕などの大小の土器や台石・砥石、土器製作用と思われる粘土塊など多くの生活道具が残っていました。火災による倒壊で転がったものも一部あるようですが、多くが当時の位置を保ったままでした。作業場・寝床・物置部分といった住居内の利用を考えるうえでの好資料です。

また、木材等は炭よりも灰になった部分が多く、熱を受けピンクに変色した土器も目立ち、赤褐色の焼土とともに、火災のすさまじさを物語っています。なお、壁材と思われるカヤ状のものも炭化して残っていました。



上中央の写真では、梁・桁が真下に焼け落ちた状態で、高床部分では放射状に垂木が炭になって残っているようすがわかります。写真の左下では、大型の壺が置かれ貯蔵用の場所、左側には甕・台石・粘土塊があり作業場兼調理場、上中央左寄りに複数の壺がありもう一箇所の貯蔵場所、右下には甕が3点あり物置き場を想定することもできるでしょう。

また、右側にはイイダコ壺が多く転がっており、連ねてぶら下げてあったものが火災の際に落ちて散らばったようです。イイダコ壺を屋内に片付けていることから、火災が起こったのはイイダコ漁期である春・夏以外であったとも想像できます。



### 2号住居の立体剥ぎ取り

焼失状態が良好に残っていた2号住居跡は、2月に立体剥ぎ取りを行いました。住居跡を8分割し、全面にシリコン樹脂を吹き付けた後、乾きを待って樹脂を塗布し、固まった後樹脂を剥がし取りました。

現在、魚住分館に収納していますが、兵庫県立考古博物館（仮称）開館の際には、復元して展示する計画になっています。



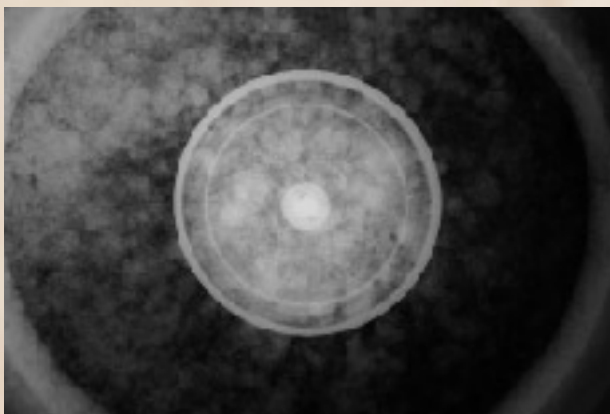
たのくちいせき  
**田ノ口遺跡**

丹波市青垣町和田

鎌倉時代前半の経塚を調査



山の斜面に石が集められていました（左上）。この石を取り除いていくと、須恵器の甕がこね鉢で蓋をされた状態が現われてきました（右上）。この甕をエックス線で撮影したところ、中に鏡があることがわかりました（左下）。そこで、甕のなかの土を慎重に取り除いていくと、エックス写真の通り、底に鏡があらわれました（右下）。鏡は、経筒の底に使われたようです。



なぬかいちいせき  
**七日市遺跡**

丹波市春日町七日市

約 2万数千年前のブロックを調査



旧石器時代の石器を作る時に使用した石核やその剥片（削り屑）、チャートの原石などが集中して出土しました。

みこそいせき  
**神子曾遺跡**

南あわじ市賀集鍛冶屋

弥生時代中期の周溝墓群を調査



弥生時代中期（約 2000年前）の方形周溝墓と円形周溝墓を計 18基を発見。この他、中期の竪穴住居跡や後期の木棺墓・土坑墓もみつかりました。



にしわきまるやまにごうふん

## 西脇丸山 2 号墳

姫路市西脇字丸山

飛鳥時代の横穴式石室を調査



横穴式石室の中から、金銅製の空玉（うつろだま）数個を発見。金銅製としては、おそらく、兵庫県下初の実見と思われます。

しるたにかまあと

## 汁谷窯跡

南あわじ市神代黒道

飛鳥時代の窯と工房跡を調査



須恵器を焼いた窯跡 2 基（1 基は灰原のみ）を発見。7 世紀中頃～後半まで操業し、壺・甕・硯などを生産していました。淡路島で最古の窯跡に位置付けられます。窯の西側では工房跡も発見（汁谷遺跡）しました。

やまのさとよっかいせき

## 山野里四ッ日遺跡

赤穂郡上郡町山野里

室町時代前半の宿跡を調査



南北朝時代の川跡（旧安室川）と掘立柱建物に伴うたくさんの柱穴を発見。

川跡からは、備前焼・土師器など多量の土器が出土しました。掘立柱建物については、旧の山陽道沿いにあたることから、宿（しゆく）の跡かもしれません。

つかぐちじょうあと

## 塚口城跡

尼崎市塚口本町 1 丁目

塚口城跡に伴う堀跡を調査

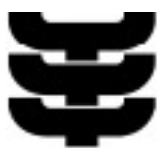


塚口城跡に伴う堀を調査。当初一重にめぐると考えられていた堀が、二重にめぐることが判明しました。堀の中から見つかった土器から、江戸時代後半に、埋められたことが明らかになりました。

## 平成 16年度の主な調査（所在地名は平成 1年 2月 1日現在）

No.	遺 跡 名	所 在 地	事 業 名	調査の概要
1	田ノ口遺跡	丹波市青垣町和田	一般国道 483号北近畿豊岡自動車道春日和田山道路	中世の墓・経塚
2	加都遺跡	朝来郡和田山町市御堂	一般国道 483号北近畿豊岡自動車道和田山八鹿道路	古墳時代・中世の集落跡
3	若王寺遺跡	尼崎市若王寺 3 丁目	排水処理施設増設事業	古墳時代の集落跡
4	明石城武家屋敷跡	明石市大明石町	明石職安増築建築工事	近世の城下町
5	由良城跡	洲本市由良成ヶ島	由良園地整備事業	近世の城跡
6	富島遺跡	津名郡北淡町富島	富島震災復興土地地区画整理事業	古墳～平安時代の集落跡
7	門前遺跡	篠山市長安寺字門前	( 国 )176号交通安全施設等整備事業	中世の集落跡
8	大藪遺跡	三田市上槻瀬	( 主 ) 三田後川上線道路改良事業	弥生時代～中世の集落跡
9	山吹遺跡	姫路市西今宿 8 丁目	緊急街路整備事業 山吹線	奈良～平安時代の集落跡
10	汁谷窯跡ほか	南あわじ市神代黒道	広域営農団地農道整備事業南淡路地区	古墳時代の須恵器窯跡・集落跡
11	坂元遺跡( 南北道路 )	加古川市野口町坂元	主要地方道加古川小野線( 東播磨南北道路 ) 道路改良事業	奈良時代の集落跡
12	藤坂馬場遺跡	篠山市藤坂	( 一 ) 本郷藤坂線道路改良事業	中世の集落跡
13	宮ノ後遺跡	加西市綱引町	( 主 ) 高砂加古川加西線道路改良事業	中世の集落跡
14	貝原ナマズ遺跡	加東郡社町貝原	一般国道 372号( 野村河高バイパス ) 道路改良工事	平安時代～中世の集落跡
15	和田村四合谷ノ口付城跡	三木市志染町吉田	県道三木三田線( 仮称: 志染バイパス ) 道路改良事業	古墳、中世の城跡
16	西脇丸山 2 号墳	姫路市西脇字丸山	( 主 ) 姫路上郡線道路改良事業	古墳
17	大中遺跡	加古郡播磨町大中	史跡整備事業	弥生時代・中世の集落跡
18	山野里四ツ日遺跡	赤穂郡上郡町山野里	( 主 ) 姫路上郡線道路改良事業	中世の集落跡
19	神子曾遺跡ほか	南あわじ市賀集鍛冶屋	( 主 ) 洲本南淡線道路改良事業	弥生・古墳時代の集落、墓など
20	大中遺跡	加古郡播磨町大中	県立考古博物館( 仮称 ) 建設事業	弥生時代・中世の集落跡
21	塚口城跡	尼崎市塚口本町 1 丁目	都市計画道路尼崎伊丹線立体交差事業	中世の城館跡
22	七日市遺跡	丹波市春日町七日市	( 国 )175号特定交通安全施設等整備事業	旧石器・弥生・古墳時代の集落、墓など
23	坂元遺跡( 区画整理 )	加古川市野口町坂元、野口	東播磨都市計画事業	弥生～平安時代の集落跡
24	岩屋遺跡	伊丹市岩屋字カンレ	坂元・野口土地地区画整理事業大阪国際空港周辺	弥生～古墳時代の集落跡
25	下加茂遺跡	洲本市下加茂 2 丁目	伊丹緑地整備事業市道加茂中央線道路改良工事	弥生時代の集落跡

お詫びと訂正 ひょうごの遺跡 54号におきまして誤りがありました。表紙の写真右上の若水 A 11号墳の所在地が、「和田山町」としているのは、「山東町」の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。



文化財堂語シンボルマーク



「こころ豊かな美しい兵庫」をめざして

今年の 1 月で、阪神淡路大震災から 10 年をむかえました。地震直後、「阪神地域は地震のないところだったのに」という言葉がよく聞かれました。しかし、それは大きな誤解で、その証拠のいくつかを発掘調査で明らかにしていました。発掘調査から得られる成果は、「めずらしい」「貴重だ」というものばかりではなく、防災に関する重要な情報を提供してくれます。

このような、情報を発信していくことも、発掘調査に関わるものとして、大きな役割の一つと考えています。今回特集した調査成果にも、このような情報が含まれており、その情報をみなさんに発信していかなければと、考えています。 ( K )